

平成28年度大阪府立池田北高等学校 第3回学校協議会記録（概要）

1 日 時： 平成29年2月21日（火） 午前10時～午前11時30分

2 場 所： 大阪府立池田北高等学校 校長室

3 協議会委員：

① 協議会委員（委嘱委員）

〈敬称略〉

会 長	木村 寛仁	大阪音楽大学 音楽学部 教授	学識経験者
会長代行	西留 清信	池田市立ほそごう学園 学園長	学識経験者
	西村 章	池田市立児童館 館長	地域の住民
	野村 剛志	大阪府立池田北高等学校同窓会会長	その他関係者
	堀田 守	阪急田園バス株式会社 伏尾台支社長	その他関係者
	玉井 洋美	大阪府立池田北高等学校 PTA 会長	保護者代表

② 事務局員（校内出席者）

校 長	若林 智子	事 務 長	東筋 和裕
教頭(事務局長)	檜山 泰範	首 席	山本 進

※記録：首席

4 内 容：

配付資料の確認 / 学校協議会開会

(1) 学校長あいさつ

配付資料の各自検証（20分程度）

(2) 協議

① 平成28年度学校経営計画及び学校評価（案）について

－学校教育自己診断結果等を踏まえて

② 平成29年度学校経営計画（案）について

③ 保護者からの意見調査の現状報告について

④ その他

(3) 諸連絡

5 協 議：

① 平成28年度学校経営計画及び学校評価（案）について

▽校長より

- ・2学年だけとなったが、「池田北高校に進学して良かった」「学校に行くのが楽しい」「学校行事は楽しく行えるように工夫されている」の項目で生徒の肯定率が上がったことは、『明るく元気な池北ファイナル』が実践されていることの証と言える。
- ・保護者や教職員の項目には、真摯に受け止めなければいけない結果もある。

(委員より)

- 『明るく元気な池北ファイナル』が実感できる結果と言える。
- 生徒たちに「僕らが池北の最後を担っている」、という意識の強まりを感じる。
- やらされている感、ではなく「自分たちでやっている」感じが読み取れる。
- 保護者の回答率が昨年度より向上しているが、半数を超えていないのは残念だ。
- 保護者の「池北に行かせて良かった」の項目も肯定率が高く評価できる。
- 教職員の自己診断結果において、「まったくあてはまらない」の回答がたとえ数%であっても、その回答があることに疑問を感じる項目がある。
 - －学校として取り組んだことを除き、個人として取り組めたか、と問うた場合にできなかったことを「まったくあてはまらない」と回答したと解釈したい。
- 就職未決定者が数名いることについて、該当生徒に夢や希望があってほしいと願う。
 - －明確な希望を持ってない生徒はいない、とは言えない現状ではあるが、家庭環境や保護者との関わり等によって未決定になっている者もいる。

② 平成29年度学校経営計画(案)について

▽校長より

- ・在籍生徒が二けたになってしまい、不安もいっぱいだが『明るく元気な池北ファイナル』をやりきるしかない! 《全員卒業・全員進路実現・全員一歩全身》

(委員より)

- 「学校を閉じる」という真っ暗なことを本当に明るくできるのか、と思う気持ちに変わりはないが、応援をしていく。
- 地域や卒業生などを巻き込んで、最後まで頑張ってもらいたい。
- ⑧**メント日記の活用が自己肯定感の向上につながり、進路実現に成果がでることを期待したい。

③ 保護者からの意見調査の現状報告について

- ・現在のところ、学校協議会に寄せられた意見はなし

④ 第31回卒業式について

▽平成29年3月3日(金)10時開式

- ・3年生が申し出たことをいくつか実現させている
 - 一人ひとりに校長から卒業証書を渡す/式場内に卒業生からのメッセージの樹を置く/卒業制作として学年で取り組んだドミノ倒しをビデオで披露

(3) 次年度の学校協議会委員についての連絡